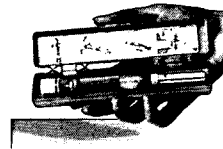
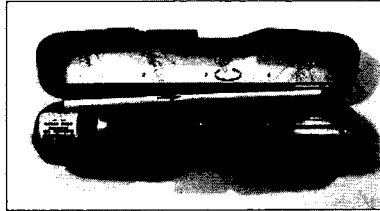


グルカゴンキット



- 海外では緊急時用のグルカゴンキットが処方されているが、日本では入手できない。
- 日本ではバイアルのグルカゴンを注射器で用時溶解して使用。

日本におけるグルカゴンの現状

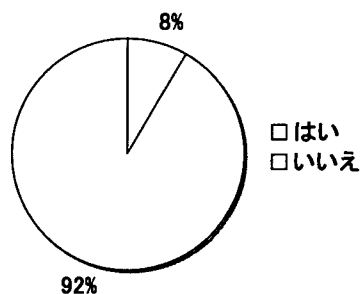
- 日本糖尿病学会のガイドラインにもかかわらず、グルカゴンを処方されていない1型糖尿病患者が多く、実態調査が必要。
- 重症低血糖発作時に誰がグルカゴン注射を行うのかという問題。

グルカゴンに関する意識調査

- インスリン療法中の糖尿病患者226名を対象にアンケートによる意識調査を行った。

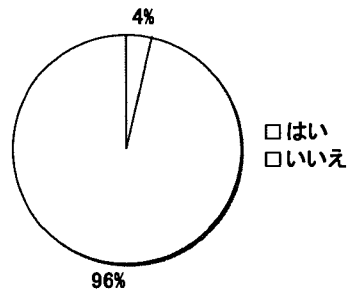
アンケート結果(1)

- グルカゴンを医師から処方されていますか(グルカゴンを持っていますか)?



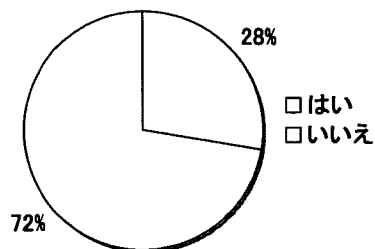
アンケート結果(2)

- 今までにグルカゴンを使ったことがありますか(摂食が困難な状況で低血糖になる等して誰かに、もしくは自分でグルカゴンを注射した事がありますか)?



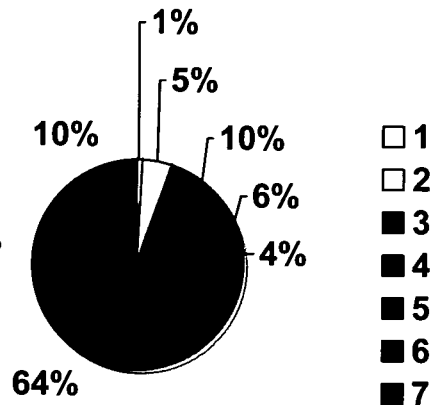
アンケート結果(3)

- グルカゴンの説明: グルカゴンとは、低血糖になったが飲んだり食べたり出来ない時に注射して血糖値を上げる薬です。上記のグルカゴンの説明を読んで、グルカゴンを持っておきたいと思えますか?



アンケート結果(4)

- グルカゴンを持っておきたくないと思う理由は何ですか？最も当てはまるものを1つ選んでください。
- 1. お金が心配だから
- 2. 一人暮らしで注射をしてくれる人がいないから
- 3. 家族が注射の打ち方を知らないから(知ろうとしないから)
- 4. 注射が嫌だから
- 5. 面倒だから
- 6. 必要を感じないから
- 7. その他



アンケート結果の分析(1)

- 主治医からグルカゴンを処方されている患者(8%)の約半数(4%)が実際に使用した経験を有していた。



アンケート結果の分析(2)

- グルカゴンの効能を読んで、グルカゴンを常備したいと考える患者(28%)は、すでに処方されている患者(8%)の3.5倍いた。



アンケート結果の分析(3)

- グルカゴンを常備したいと希望しない理由として、「必要を感じない」と理由がもっとも多く、過半数(64%)を占めた。

まとめ

- 重症低血糖対策としてグルカゴンを常備することを希望するにもかかわらず、実際にはまだグルカゴンを処方されていない患者層の存在が確認された。
- グルカゴンの有用性につき、医療関係者・患者にさらなる周知を図る必要がある。

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年
坂根直樹 佐野喜子 (監訳)	阿部 恵 岡崎研太郎 小谷和彦 高木洋子 田嶋佐和子 古家美幸 森川久恵 山田和範 村田 敬 佐野 純也	糖尿病患者のための カーボカウント完全 ガイド	医歯薬出版株 式会社	東京	2007